

会議録

会議名 令和5年度 第1回 西尾市社会教育審議会

日時 令和5年7月21日（金）午後2時～午後4時

場所 西尾市役所21会議室

出席者 【社会教育委員】
出席：9名
欠席：2名
【教育委員会事務局】
齋藤教育部長、鈴木生涯学習課長、林文化財課長、齋藤図書館長
【交流共創部】
石川交流共創部長、犬塚観光文化振興課長、高須スポーツ振興課長
【事務局】（生涯学習課）
本田、澤、近藤、鈴木、佐藤

傍聴者 0人

会議の要旨は以下のとおり

1 教育部長あいさつ

2 議題

(1) 令和4年度社会教育事業報告について

(2) 令和5年度社会教育事業計画について

各課から令和4年度社会教育事業報告及び令和5年度社会教育事業計画について説明

【主な質問・回答、意見】

- ・西尾市も外国籍の方が多くみえます。そんな中、共生社会を目指してとありますが、どのような講座を考えておられますか。
→みんなの学びチャレンジプランにおいて44のアクションプランを掲げる中で15ページ40番・41番にも記載しましたが、生涯学習が所管します生涯学習施設、特に鶴城ふれあいセンター等は外国人の利用者も多いため、外国人との共生に関係する内容の講座を6年度から取り組んでいきたいと思っています。さらには外国人利用者の多いとことは言葉の壁も大きいということで、多言語、やさしい日本語を使用し、言葉の壁がないように心掛けていきたいと考えています。
- ・講座の企画を考えていく中で、末端の公民館までこういった基本方針が浸透しているか、またどのように講座の方針を示しているのでしょうか。
→今年度からスタートしたこの計画は施設長会議を通じ周知し資料を配布しています。さらに講座の担当者会議を年2・3回行い、そこで解説をしています。今回のチャレンジプランは子ども向けの講座に力点を置いています。市民に対しては講座のメニューを変えることにより、理解を深めていただきたいと考えており、情報発信の在り方も今後検討し、講座の申込の拡大も進めたいと思っています。
- ・図書館講座で定員を大幅に超える申込がされた魅力的な講座があると聞きましたが、申込みが少ない講座でも価値があるものもあります。1人に対し大人が数人かわることで子どもは喜び変わっていくので意味があるということもあります。

・茨木のり子の記念館があったらいいなと思います。

→茨木のり子さんについて市として大事に捉えていくことを考えています。茨木のり子さんの本を刊行したところかなり好評でした。茨木のり子さんは知名度がありこの地元の人なのだということ浸透させていきたいと改めて誓ったんです。記念館についてはご希望があったと受け止めさせていただきます。

・おもちゃ館の保存修理とありましたが、目的があるのですか。

→計画しているのは、定期的に読み聞かせ等。また、本館3階で実施しているおもちゃ修理をおもちゃ館で実施できるようにしたいと考えております。

・経営者視点から気になるのは報告や委託料、維持管理料が計画値に対してオーバーしているかという評価はしているのか。また4年度と5年度との違いをどう評価するか。いろんな委託料を下げる努力をするのか等についてはいかがですか。

→該当するのは、施設の運営委託料になると思います。5つの指定管理館を持っていますが1つだけが体制が異なります。業者と話しながら毎年委託料を決めていきますが、コストを下げる要望をしながら上限を超えることのないよう決めていきます。昨年から電気料がかなり高騰していますので、例えば一色の指定管理料でいうと4,000万だったのが今年は6,000万近くに上がっています。想定外の部分については一定の予算増がありますが、一定の契約の中で利用率や満足度がいかにかに上がるかについて委託料をみて範囲内で成果を上げてほしいとのチェックをしています。

・図書館と岩瀬文庫は隣接しているのでそれを強みとして上手にタイアップしていただき、第2の文教地区といったまちづくりとしてやっていただくとよりよくなると思う。いい意味で引っ張って相乗効果を出していただきたい。

・二十歳の集いですが、対象者はどの方になるのでしょうか。

→民法の改正で新成人に年齢が引き下げられましたが、西尾市は新成人の18歳ではなく、20歳の若者を祝福する機会として「二十歳の集い」という形で今後も20歳の若者の式典として継続をしてまいります。

・二十歳の集いは昨年度も今年も3部構成ですが、今後も続けていかれるのか、3部構成ですが、元々はコロナによって3部制にしたのですが、メリットとしましては駐車場が飽和状態にならないということと、3回の式典で事務局側は大変ですが、参加者の整理がしやすいということで、3部制については今後も継続していく予定です。

・二十歳になった子で西尾市から出てしまった子にはどうでしょうか。

→参加できます。ホームページでも掲示していますが、住民票がなくても申込みしていただければ、案内状が出せるように対応しています。

・鶴城中学校のボランティア部が市の図書館で読み聞かせの活動をしている。コロナで対面がなくなり、子ども達の発育を阻害していると思います。家を出られなくなった子が大勢います。安全面も配慮しなければいけないが、すごくいい活動なので他の学校でもやってほしい。

・生涯学習課で行われている「お金について学ぼう」という講座を全中学校で出前授業をしてもらいたいくらいです。子ども達はお金の価値を知っているようでわからない。何が問題なのか組織間で連携して対応してほしい。

